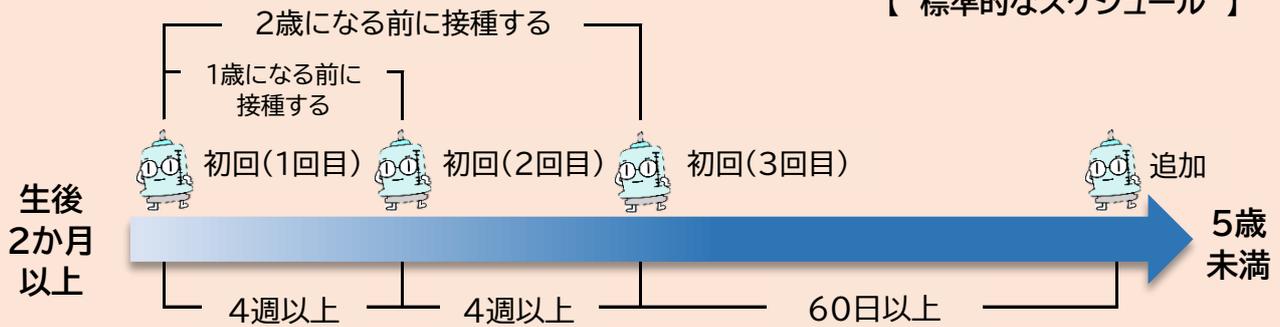


小児の肺炎球菌ワクチン予防接種について

◆ 接種間隔および接種回数

【1】 生後2か月～7か月未満で1回目を接種する場合：4回接種

【標準的なスケジュール】



- 2回目及び3回目の接種は2歳になる前までに行うこと。
2歳までに3回目まで接種できなかった場合は、初回接種の残りの回数分の接種は行わず、前回の接種から60日以上あけて追加接種を行うこと。
- 2回目の接種が1歳を過ぎた場合は、3回目の接種は行わず、前回の接種から60日以上あけて追加接種を行うこと。
- 追加接種は1歳を過ぎてから接種を行うこと。

【2】 生後7か月～12か月(1歳)未満で1回目を接種する場合：3回接種



- 2回目の接種は1歳になる前までに行うこと。
1歳までに2回目まで接種できなかった場合は、2回目の接種は行わず、前回の接種から60日以上あけて追加接種を行う。
- 追加接種は1歳を過ぎてから接種を行うこと。

【3】 生後12か月(1歳)～2歳未満で1回目を接種する場合：2回接種



- 5歳になる前までに60日以上あけて2回接種すること。

【4】 生後2歳～5歳未満で1回目を接種する場合：1回接種

- 5歳になる前に1回接種を行うこと。

